

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	座波 一(沖縄自民党・無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 首里城火災の原因究明と再建後の管理及び委託先についての考え方を伺う。</p> <p>(2) 辺野古埋立事業に反対し妨害する行為から工事関係者の安全と人権を守るために、沖縄県が行うべきことに対する知事の考えを伺う。</p> <p>2 県土の均衡発展について</p> <p>(1) 東海岸サンライズベルト構想の目的と計画の具現化について。</p> <p>(2) 中城湾港マリンタウンプロジェクト計画から外れた佐敷東地区と知念地区の海辺のまちづくりについて。</p> <p>3 戦没者の遺骨収集について</p> <p>(1) 与那原町内の壕跡に眠る旧日本軍海上挺身隊7名と沖縄少年兵4名の遺骨収集について。</p> <p>(2) 県内の所有者不明土地における遺骨収集活動の許可について。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	新垣 淑豊(沖縄自民党・無所属)	知事 関係部長等

質問要旨

1 被害者支援について

「公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター」は、犯罪や交通事故などの被害に遭った方やその家族が抱える悩みの解決や心のケアを支援する民間の被害者支援団体である。その顧問には、玉城知事や中川県議会議長、そして県警本部長も名前を連ねていることから、県としては被害者支援は重要であると考えていることが分かる。せんだっても東京・池袋で起こった交通事故の遺族が沖縄県内で講演をした際に、県内の市区町村レベルで犯罪被害者支援条例を整備することの重要性を話していた。またその際に、高齢者の免許証返納についても話されていた。それを踏まえて、以下伺う。

- (1) 県は既に犯罪被害者支援条例を制定しているが、全国と県内での市町村の制定状況について、また制定に向けて沖縄県が行っている市町村支援について伺う。
- (2) 被害者支援ゆいセンターでの相談内容と支援の状況を伺う。
- (3) 被害者の相談支援において、県内離島の対応の難易度が高いと聞かすが、その実情を伺う。
- (4) 高齢者の運転を誤った交通事故の状況と高齢者の免許証返納の状況を伺う。

2 高齢者福祉政策について

現在、県内でも多くの業種において人手不足が問題とされているが、介護関連事業所の人手不足も深刻となり、那覇市・浦添市では老人ホーム難民と言われる入居待機者が増え、またその家族も介護離職などを余儀なくされていると聞いている。今後、介護を必要とする高齢者がさらに増えると予見されているが、人手不足により老人ホームの経営は厳しく、閉鎖する施設も出てくることで、需要に応えられないエリアが広がるとも言われている。県も特別養護老人ホームの整備の計画をつくっているが、応募する法人も少ない現状と聞いている。それを踏まえて、以下伺う。

- (1) 今後、介護を必要とする高齢者の予想される状況と介護に関する人材不足はどのようになると予見されているか、その対応をどのように考えているか伺う。
- (2) 現在、県が計画をしている特別養護老人ホームの整備についての状況を伺う。
- (3) 特別養護老人ホーム整備の際に補助がなされるが、その内容を伺う。
- (4) 介護保険料を支払っているが、住居地域に施設がなく、介護保険の利用ができない県民がいると聞かすが、その状況について、また対する県の方針・施策を伺う。

3 防災について

北部豪雨災害で、災害救助法の申請についての遅れが報道にも大きく取り上げられ、沖縄県の現在の災害対応の取組の弱さが露呈した。そのような中、知事のXでは知事自身に対しての誤った認識での投稿を見たことで、9日、10日は公舎にいたとの説明がなされ、さらには非難の投稿に対して何らかの法的な措置を想像させるスクショの撮影を示唆していた。そのようなことをするより先に、災害について情報を発信し県民を安心させるべきであり、その姿勢が県の災害対応につながったものであると感じる。普段から災害の可能性を考えて取組み、発信することが重要ではないだろうか。ヘリコプター操縦士の方から県の災害対策の計画、訓練において、沖縄県は、ヘリが着陸できる場所の設定が少なく、場当たりの訓練がなされることが多いと指摘を受けた。定まった着陸地があれば、その場所に合わせた訓練で搭乗ルートなど実際の避難を考えた行動ができるという話があった。また今回の被災状況では、国の支援を要請するに至らないのではという話があった。その原因として、県外と沖縄県の建物のつくりが異なることが挙げられているなど、課題は山積している。それを踏まえて、以下伺う。

- (1) 災害時のヘリコプター着陸を想定した場所について伺う。
- (2) 今回の北部豪雨において全壊・半壊などの判定の仕組みを伺う。

4 ワシントン駐在及びワシントン事務所株式会社について

今議会の開会日に令和5年度決算不認定を受けたにもかかわらず、直後の「ハイサイ」から始まる議案提案においても、まさに自分事として捉えておらず、私はその玉城知事が提案をする姿を議場から見てあきれていた。現在まで9年に及び、地方自治体が法令に反する事務所の運用をしてきたワシントン駐在・事務所は、法治国家である日本において大問題であり、対米の問題ともなり得る。しかし、さきに述べた知事の態度や記者会見内容を見ると「体裁を整えれば今後も継続していいだろう」との様子をうかがい知ることができる。全くもって事の重大さを認識していない。そのことを踏まえて、以下伺う。

- (1) この駐在・事務所株式会社の設置は、いつ、誰が提案したのか伺う。
- (2) 株式会社の設置について問題と認識していることは何か伺う。
- (3) 初代から現在まで、ワシントンへの派遣職員のビザの申請の起案と承認は誰が行ってきたか伺う。

5 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
3	17分	仲里 全孝(沖縄自民党・無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 北部地域における大雨災害について、下記のとおり知事の考え方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 河川、道路、土砂崩れ、床上・床下浸水、車両損傷など、復旧作業状況を伺う。(2) 鶏舎、畜産、農作物被害などについて、村との連携について伺う。(3) 災害復旧費用で村の負担金は発生しているのか伺う。(4) 県の災害時の危機管理体制・組織について、内容を伺う。 <p>2 米国ワシントン事務所について、下記のとおり知事の考え方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 非営利事業者として登録を検討していたが「ロビー活動などは県の政治的活動に当たる」として指摘を受け、株式会社の形態をとった、とあるが内容を伺う。(2) ワシントン事務所が株式会社だったことについて、玉城デニー知事は今回初めて知ったとあるが、知事本人の認識の内容を伺う。(3) 2015年12月23日にFARA登録されているが、内容を伺う。(4) 2015年から2023年までの間、県職員のLビザ取得状況を伺う。(5) 県職員を株式会社ワシントン事務所の社長、副社長へ任命した任命権者は誰か伺う。 <p>3 名護安和栈橋と本部港における安全対策について、下記のとおり知事の考え方を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 安和栈橋と本部港、それぞれについて、安全対策協議の進捗状況を伺う。(2) 安和栈橋については、市民団体から要望時、県からはガードレール設置はしないとの回答だが内容を伺う。(3) 本部港について、作業関係者以外の立入禁止看板などの設置状況を伺う。(4) 先般の安和栈橋における事故捜査の進捗状況を県警本部長へ伺う。 <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	高橋 真(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県出資の子会社「県ワシントン事務所」に関して地方自治法243条3の2違反をはじめ、様々な課題が決算委員会の総括質疑で明らかとなり、決算不認定となったことについて知事の見解を伺います。</p> <p>2 リゾテックオキナワ推進事業について</p> <p>(1) 事業の概要、目的、これまでの参加企業数、来場者数の実績や事業予算の推移等、成果を伺います。</p> <p>(2) 逆商談ブースの活用状況、成果と課題について伺います。</p> <p>(3) 県内各行政関係者と新規来場者の参加について伺います。</p> <p>(4) 国の事業との連携や今後の方向性について伺います。</p> <p>3 福祉避難所の設置促進について</p> <p>(1) 沖縄県が福祉避難所の設置を進めていくためにどのように取り組むのか伺います。</p> <p>(2) 県立特別支援学校を福祉避難所にする場合、市町村との連携や避難所開設後の市町村職員と特別支援学校教職員との協力体制について話し合いや訓練はされているのか伺います。</p> <p>(3) 美咲特別支援学校保護者・関係者有志の方々から4916筆の署名が沖縄県教育委員会教育長と地元沖縄市長宛て県立特別支援学校を福祉避難所とする要望書と併せて提出されました。このような声に沖縄県教育委員会としてどのように答えていくのか伺います。</p> <p>4 学校における医療的ケア児に関する実態について</p> <p>(1) 医療的ケアが必要な幼児児童生徒数の過去3年間の推移について</p> <p>ア 特別支援学校に在籍する生徒数</p> <p>イ 幼稚園、小・中・高等学校に在籍する生徒数</p> <p>(2) 登下校のみ保護者等が医療的ケアを行うために付添いなど行っている生徒数と割合について伺います。</p> <p>(3) 医療的ケア児の付添いが必要な理由について伺います。</p> <p>(4) 通学方法について伺います。</p> <p>(5) 現状と課題について伺います。</p> <p>(6) 医療的ケア児通学支援事業の導入について伺います。</p> <p>5 道路交通政策について</p> <p>(1) 県道20号線の計画と施工スケジュール、工事現場の安全対策について伺います。</p> <p>(2) 主要渋滞箇所における渋滞ボトルネック対策の概要と沖縄アリーナ沿い国体道路・県道23号線の渋滞解消に向けた取組を伺います。</p> <p>(3) 池武当インターIC(仮称)の現状と今後の整備計画について伺います。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
5	17分	糸数 昌洋(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 防災行政について</p> <p>(1) 北部豪雨災害への対応について、県の地域防災計画上の課題を伺う。</p> <p>(2) 自然災害が激甚化・頻発化する中で、災害想定及び応急対策計画を見直す必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 近年頻発する線状降水帯を伴う豪雨災害については、県内各地での広域災害を想定した応急対策を各自治体と協議して早急に講ずるべきである。見解を伺う。</p> <p>(4) 全国的に警戒区域外の土砂災害が増えている。デジタル標高地形図を用いた危険箇所の把握が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 国は避難所の環境改善について、発災から48時間以内に、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「スフィア基準」が満たされるよう、自治体に必要な支援を行う考えを示している。</p> <p>ア 「スフィア基準」とは何か。導入に向けた課題を伺う。</p> <p>イ 県は、各自治体の状況を確認・点検しながら、導入に向けて寄り添った支援を行うべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 観光目的税について 観光目的税制度の導入に関する検討委員会での審議結果がまとまった。通院等で島外に宿泊せざるを得ない離島住民も課税対象とすることについては納得がいかない。検討委員会においてどのような議論があり結論に至ったのか、経緯を伺う。</p> <p>3 教育行政について 久米島高校の離島留学生の寮である「じんぶん館」への舎監の配置について、町から県に対する要請とともに県議会へも陳情が出ている。教育的見地から、舎監配置の意義と必要性について見解を伺う。</p> <p>4 県営住宅について</p> <p>(1) 今年の県営住宅の空き家待ちの募集・入居の状況について伺う。</p> <p>(2) 居住者が退去した後の空き家の修繕状況について伺う。</p> <p>5 マイナンバーカードについて 12月2日より、健康保険証がマイナ保険証を基本とする仕組みに移行した。県民のマイナンバーカードの保有率と取得促進に向けた取組の進捗と課題を伺う。</p> <p>6 コロナ後遺症について 新型コロナウイルス感染症から回復後も長引く症状があり、日常生活に支障が生じている、いわゆるコロナ後遺症に苦しむ県民の状況と診療体制がどうなっているのか伺う。</p> <p>7 道路管理について 土木環境委員会において、県道の修繕を要する箇所について、那覇市の道路投稿情報アプリなどを参考に、地域住民の情報をいち早くキャッチできる仕組みを導入したらどうか提案したが、見解を伺う。</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	上原 章(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 物価高対策について</p> <p>(1) 国は新たな総合経済対策の中で、来年の1月から3月までの電気・ガスの利用料金を支援しているが、県独自の対策として、電気・LPガス、プレミアムつき商品券等の支援推進はどうか。</p> <p>(2) 6月の補正予算で計上された「超高齢社会における地域つながり・支え合い推進事業」の取組状況を伺います。</p> <p>2 令和7年度実施の給食費無償化について</p> <p>(1) 県が打ち出している中学生給食費の2分の1補助について、県町村会から、市町村で人口規模や財政状況が大きく異なり地域間格差が懸念されるとし、県が統一して完全無償化を進めるよう要望しています。県の対応を伺います。</p> <p>(2) 小学生や就学援助対象者まで拡充する必要があると思うがどうか。</p> <p>3 学校現場(小中高)における「体育館等へのエアコン設置」について、取組及び推進状況を伺います。</p> <p>4 特別養護老人ホームの整備について</p> <p>(1) 県は、令和8年度末までに特別養護老人ホームを新たに300床整備するとしているが、取組状況を伺います。(課題、対策等)</p> <p>(2) 物価高騰に伴い、建設費・人件費等が上昇し、公募に影響が出ているとの声があるがどうか。</p> <p>(3) 県が査定している施設整備補助金等の見直し、増額を検討する必要があると思うがどうか。</p> <p>5 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業について</p> <p>(1) 成果を伺います。</p> <p>(2) 市町村の居住支援協議会の設置状況を伺います。</p> <p>6 一人暮らしの高齢者が増加しているが、民間アパート等に入居している生活費が少ない世帯への家賃支援はどうか。</p> <p>7 県内の道路における雑草対策について</p> <p>(1) 現状と課題、対策を伺います。</p> <p>(2) 石垣市より、沖縄県の管理道路における維持管理方式について、県管理道路全路線に「性能規定方式」を導入し、維持管理費の増額の要請があるが、対応を伺います。</p> <p>8 県道7号線小禄本通りにおける山下交差点付近の一部歩道の狭隘、傾斜について、県は対策を取っているが、進捗状況を伺います。</p> <p>9 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	大田 守(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 教育行政</p> <p>(1) 給食費の無償化について</p> <p>ア 給食は義務教育の中で「食の教育」として位置づけられていると考えるが、県と教育委員会の見解を伺う。</p> <p>イ 中学生の給食費を令和7年度から2分の1補助する方針だが、人口規模や自治体の財政状況が異なるため地域間で保護者の負担額に格差が生じることが懸念される。県の見解を伺う。</p> <p>(2) 不登校について</p> <p>ア 令和5年度全国で、いじめは小・中・高校で約73万件、不登校の小中学生は約34万人となっている。沖縄県でもいじめ1万3522件、不登校は7013人と過去最多となっている。その対応について文科省・県はスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置・派遣など学校をサポートしていく体制が必要としているが、県内の状況と具体的対応を伺う。</p> <p>2 文化財行政</p> <p>(1) 文化庁は「国民が文化財を理解し、親しむ機会の充実を図るため、文化財の特性や保存に配慮しつつ、文化財の魅力が国民に伝わるよう、文化財の公開・活用を積極的に推進する施策を講じることが重要」としている。そこで伺う。</p> <p>ア 文化財の保護・活用に対する県の見解を伺う。</p> <p>イ 文化財の県指定、国指定数を伺う。</p> <p>3 農業行政</p> <p>(1) 農産品のブランド化について</p> <p>ア 沖縄独特の島野菜のブランド化で農産物の競争力強化が期待できます。島野菜のブランド化への現状と対策を伺う。</p> <p>イ 県内の畜産業において豚・牛・鶏が主要となっているが、沖縄の食文化においてヤギの位置づけは大きなものがある。しかしその形態は小規模飼育の状況となっている。観光産業が主要である沖縄にとってインバウンドの食対応を考えるとヤギ肉のブランド化で他地域との差別化を図ることが可能となる。その可能性を秘めたヤギ飼育頭数と出荷額を伺う。</p> <p>4 防災行政</p> <p>(1) 台風来襲地である沖縄県は、自然災害等への緊急対応態勢が整っていると考えていたが、11月8日～10日の県北部での豪雨災害では幸いにも人的被害はなかったがインフラ、農産物の甚大な損害が生じている。豪雨災害時の対応とその後の具体的対応を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	仲宗根 悟(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 本島北部地域における豪雨災害について</p> <p>ア 11月9日から10日にかけて、沖縄本島北部で起きたこれまでに経験したことのない記録的な大雨は、河川の氾濫による床上浸水、断水、崖崩れによる道路の寸断など甚大な被害をもたらしました。被害状況と今後の対策について伺う。</p> <p>イ 今回の災害においては、災害救助法の適用が受けられない事態になったが、県として被災者の支援を図らなければならない、その対応について伺う。</p> <p>ウ 河川氾濫に伴う、浸水被害による災害廃棄物の処理について県の対応を伺う。</p> <p>エ 農畜産物への影響について伺う。</p> <p>(2) 2025年度沖縄振興予算の確保について伺う。</p> <p>2 米軍基地問題について</p> <p>(1) 国頭村辺戸岬付近に普天間配備のUH1ヘリコプターが不時着した。知花国頭村長は「地域住民及び観光客に大きな不安を与える行為であり、万一墜落すれば大惨事につながりかねない」として、集落や観光地周辺上空での飛行訓練を実施しないこと、原因究明と再発防止を米側に働きかけることを求め抗議の意思を示した。県としての対応と対策について伺う。</p> <p>(2) 嘉手納基地の深夜・早朝の戦闘機の離発着訓練が度々行われる状況があるが、去る11月14日午前2時過ぎに98.6デシベルが記録された。WHOは睡眠妨害を引き起こす健康被害の実態を述べている。まさに常軌を逸する基地使用のありようである。県の対応と対策について伺う。</p> <p>(3) 米軍兵によるひき逃げ事件、器物損壊事件、飲酒運転による物損事故及び追突事故等、不祥事が多発している。抜本的な対策が望まれるが取組状況について伺う。</p> <p>3 比謝川の歴史・自然景観整備について</p> <p>(1) 比謝川下流堰の撤去に伴う下流一帯の保全対策をどのように考えているのか方向性を伺いたい。</p> <p>(2) 屋良城址公園から河口まで水面利用が可能となると思うが兩岸の自然景観整備等どのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) 比謝川河口の歴史沿革、旧日本軍の特攻艇秘匿壕群など平和学習の場として後世に伝える歴史遺産となることから「平和学習広場の設置」など整備することについて伺う。</p> <p>4 伝統工芸産業の振興について</p> <p>(1) 長い歴史と風土の中で培われてきた伝統工芸は、地域経済の活性化や観光産業に重要な役割を果たしている。伝統工芸産業の現状と課題、今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 伝統工芸品は熟練した職人の手作りが魅力である。従事する人材確保と育成について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			